

2024 年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

2025 年 4 月 21 日

*数値は 2025 年 3 月 20 日時点

1. 報告

生活協同組合コープみらいの 2024 年度「ちばSSK プロジェクト等に関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2024 年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

(1) 県内の全市町村と締結している高齢者の見守り協定に基づき、コープデリ宅配・店舗事業の中で異変を発見した際に、市区町村や警察等へ通報します。

▶2024 年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し、通報した件数は 122 件（宅配 96 件、店舗 26 件）でした。

【通報事例】

- ・配達先組合員宅に伺ったところ、先週の商品が取り残されていた、応答がなく連絡がとれないため高齢者相談センターに連絡。高齢者相談センター職員が訪問し、組合員が自宅にて衰弱していたため救急車を呼び緊急入院となった。
- ・配達先組合員宅に伺ったところ、いつもはお会いできるが、インターフォンを押しても応答がなかった。窓が開いていたので声をかけてみると応答はなかったが、中で組合員さんが倒れているのが見えたため救急車を呼ぶ対応をした。

▶コープみらいの移動店舗ふれあい便では、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買い物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設等の停留所を週 1 回巡回し、高齢者の買い物を支援しました。

(2) 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。

▶新地域支援事業に関する会議

- ・四街道市たすけあい連絡会

▶高齢者見守り等に関する会議

- ・千葉市孤独死防止通報制度連絡会議（Zoom 参加）
- ・松戸市高齢者等の見守り活動に関する協定締結事業者の定例会（活動実績報告）
- ・習志野市高齢者見守り事業者ネットワーク会議（会場参加）
- ・一宮町地域支援ネットワーク会議（会場参加）

・鎌ケ谷市高齢者見守り支援会議（会場参加）

Ⅱ 「ちばSSKプロジェクト」

- （１）「ちばSSKプロジェクト」の施策を周知するために、組合員情報紙「ちばインフォメーション」（県内 35 万部発行）等の広報媒体の中で、「ちばSSKプロジェクト」について紹介します。
- ▶「ちばインフォメーション」8 月 21 日号に、「ちばSSKプロジェクト」の紹介とともにコープデリ宅配にて実際に発生した見守り活動の事例紹介をしました。

Ⅲ 認知症対策

- （１）職員や組合員、地域の方を対象に、認知症サポーター養成研修を実施します。
- コープみらいでは、2009 年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。また、各事業所の責任者が認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け、各事業所で講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています。オンライン講座を実施し、新たに 19 人のサポーターを養成しました。

Ⅳ 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

- （１）組合員と地域の方が気軽に参加できる“地域に開かれた笑顔あふれる居場所”「みらいひろば」を県内各地で開催し、高齢者も含め多世代間の交流を進めます。
- ▶年間でのべ 663 会場で開催し、3,927 人が参加しました。地域の居場所としてつながりづくりを大切にし、参加者それぞれの想いや暮しに寄り添いました。また、新しい参加者を迎え入れ、新しい会場も開設しました。アフターコロナで商品の試食や調理を楽しむ会場も増え、交流が広がりました。

【みらいひろばでの事例】

月に 1 度パレット柏で開催しているみらいひろば柏では、参加されている多世代の方との交流で興味のあることのおしゃべりや、「やってみたい」と思ったことに取り組んでいます。例えば、柏市の消防署での AED 講習や防災・減災の学習のためポリ袋クッキングなどを開催しました。参加者同士が直接会い地域のことや興味のあることを交流する中で、適度な距離を保ちながら多世代交流で様々な気づきを得ながらあってよかったと思える居場所になっています。

- （２）組合員と地域の方のグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を通して、高齢者の生きがい、健康、仲間づくりを応援します。
- ▶「地域クラブ」の登録数は全体で 841 件（全世代含む）となり、高齢者を含めて食・健康・福祉などをテーマに生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ「エイティ」は結成当時 60 代後半の代表者が「80 歳まで続けましょう」と立ち上げた週に 1 度卓球を行うグループです。元々はコープみらいの宅配を共同で利用していた方たちの集まりで、いつまで続くかわからなかったけれど今では最高齢の方は 91 歳。卓球台が 1 台しかない施設で行っているため、待ち時間があるも

のの、その時間で世間話や地域の情報交換が定期的にできる時間が有意義と言えます。「こんな老後があるなんて思いもしませんでした。」「自分が考えていた以上にしあわせ」との声もありました。体調が悪く（足腰が痛く）卓球ができないこともあるそうですが、毎週メンバーさんとお話したり、身なりを整えて出かけることが認知症予防にもなるとお医者さんにすすめられたとうメンバーさんもいらっしゃり、皆さんお会いすることを楽しみに、またお互いの安否確認にもつながり地域で活動しています。

- (3) 出前授業（食育・環境・防災・減災）を、シニアクラブなど高齢者向けに実施します。
- ▶地域からの依頼に応じて SDGs プログラムを 10 会場 412 人、食育プログラムを 49 会場 1177 人、防災・減災プログラムを 48 会場 1143 人、エコプログラムを 32 会場 535 人に実施しました（千葉県の食育サポート企業に登録しいきいきシニア食育プログラムを提供）。
- (4) 自治体の進める「生活支援体制整備事業」への貢献を目的に、一層・二層の協議体への参加、地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めます。
- ▶第一層・第二層協議体への参加は、「2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。」の報告に記載したとおりです。
 - ▶支援を必要としている生活困窮者のため食品等支援を行っている白井市・八街市・佐倉市・君津市・成田市・市川市・千葉市・市原市・習志野市の社会福祉協議会へ合計 24953.2kg の千葉県産米や食品等を寄贈しました。

V 高齢者の安全、安心

- (1) 千葉県くらし安全推進課と連携し、情報紙「ちばインフォメーション」に高齢者の消費者被害防止に向けた啓発記事を掲載します。
- ▶「ちばインフォメーション」に、「消費者被害防止」「交通安全運動」等に関する啓発記事やイベント等の情報を計 11 回掲載しました。
 - ▶「みらいひろば」の参加者向けに配布する通信にて「最近起こっている消費者トラブルの事例」について掲載し、家族への注意喚起を呼びかけました。
 - ▶ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。

以上